



城北小だより

5月号

令和6年4月30日

さいたま市立城北小学校

TEL 048-757-5391

児童数697名

◇学校教育目標◇

「考える子 思いやりのある子 がんばりぬく子」

好きな教科は何ですか？

校長 中村 篤

先日いつものようにネットサーフィンをしていると興味深い記事を見つけました。それは「Z世代が選ぶ!!『将来役に立たないと思う教科TOP10』」というものです。「理科(私の専門教科)はきっと上位には入っていないだろう。みんな観察・実験が好きだしね」と軽い気持ちで確認したところ、国語・社会・数学・英語など数多くの教科を抑えてなんと3位に君臨しているではありませんか!(ちなみに2位は図画工作、1位は音楽でした)。あまりの予想外な結果に軽くショックを受けつつ、後日、今度は「勉強しておくべきだったと思う教科」という記事を見つけました。「算数(数学)には負けるけれど、上位には入っているだろう」と確認したところ、なんと、上位から英語→算数(数学)→国語→社会→理科の順番でした。しばらく立ち直れませんでした。

私が理科の教員を目指したきっかけは、小学校と中学校の担任の先生です。小学校では子どもたち自身で考えたいろいろな方法で納得がいくまで実験をさせてくれたり、中学校では不思議な実験をたくさんさせてくれたりしました。「なぜだろう」「面白いな」「やってみよう」と毎時間ワクワクしました。理科の教員になれば観察や実験が自由に思いきりできるし、自分が経験したこの楽しさを子どもたちに伝えていきたいという思いもあり、より専門的に学びたいと大学は理工学部の物理学科に進学しました。確かに理科は日常生活に直結していることを実感しづらい教科かもしれませんが、身の回りの事象はすべて科学的に説明できるところが理科という教科の面白いところです。

私も「勉強しておくべきだったと思う教科」について考えてみました。やはり、国語と英語でした…。国語についてはもっと本を読めばよかった、英語については積極的に会話の練習をすればよかった、など反省しきりです。ALTの先生に「Hello!」なんて恥ずかしくて未だに言えません。本校の子どもたちがG・Sの授業で楽しそうに英会話をしているところを見ると、とてもうらやましく思います。

本校では学校課題研究として「意欲をもって取り組み、ねばり強く頑張る児童の育成～あきらめずに進んで学ぶことで確かな学力を身に付ける城北っ子の育成を目指す算数指導の工夫・改善～」に取り組んでいます。本校の児童に「好きな教科は？」と質問すると、必ず上位に算数が挙げられます。しかし、全員が算数の基礎的な学力が身に付いているかということ「Yes」とは言えない状況です。そこで、①1人1台端末やICTを活用する、②パワーアップタイムと称し、毎時間の授業の中で基礎的な内容を確認する時間を設ける、③学習しやすい環境を整えるなど、基礎学力向上に向けて様々な工夫と改善を行ってまいります。また、「面白いな」「やってみよう」というワクワク感と「できた!」という達成感を味わわせることで、学習に対する関心や意欲を高めていきたいと考えています。果たして将来、学校の先生になりたいという子が出てきてくれるのでしょうか。

◆◇悩みを相談できる相談窓口◆◇

学校生活のことや友達関係のことなど、様々な悩みを相談できます。悩みを聞いてもらうだけで、気持ちが軽くなることがあります。一人で悩まず、ぜひ相談してください。

■さいたま市24時間子どもSOS窓口 0120-0-78310 (毎日24時間)

■その他 さいたま市には様々な相談窓口があります。

「相談窓口のご案内」<https://www.city.saitama.jp/002/001/016/001/p033924.html>

※学校HPのトップページにもリンクバナーがありますので、そちらからもご覧いただけます。